

福島県合唱コンクール 無観客開催

8月29日～30日に予定されていた第74回福島県合唱コンクールは郡山でのクラスター発生を受け、その開催が危ぶまれていましたが、福島県合唱連盟は無観客で開催すると決定しました。

- ・8月29日(土)10:00演奏開始(高等学校部門)
- ・8月30日(日)10:00演奏開始(小学校部門・大学職場一般部門・中学校部門)
- ・審査員：雨森文也、上田真樹、佐藤正浩、戸崎文葉、山脇卓也

県連では、本番以外はマスクを着用するなど従来からの対策に加え、無観客開催および大会運営に中高生の補助員(各種係の手伝い要員)を起用しない、出演に至るまでの移動経路を一方通行とし、別の団体と接触しないようにすること、団体ごとに来館時間を指定し、会場での滞在時間を短くする、演奏後は速やかに会場から退出・解散するなど新たな対策を追加しました。

菅野正美県連理事長は「三年生にとって最後のステージを楽しんでもらうためにも、感染対策に万全を期す」と語り、開催するための苦渋の決断であったことが窺えます。

全日本合唱コンクール全国大会やNHK全国学校音楽コンクールが既に中止となり、中高生にとっては合唱活動の集大成としての発表の場を失っていました。形はどうであれ、演奏の場が設けられたことは素晴らしいことです。出場される団体はガイドラインを遵守し、思い切り歌ってください。

コンクールは、有料でインターネット・ライブ配信サービス「**TwitCasting**(ツイキャスト)」で生配信されます。ツイキャストにアカウント登録すれば視聴できます。料金は各日手数料込み1100円。また、既に販売済みの前売り券は8月25日から払い戻しを受け付けます。詳しくは福島県連ホームページで確認ください。

〔**Live配信視聴チケット販売ページ**〕は次の通り。

第1日目：8月29日(土)

<https://twitcasting.tv/c:towamovie/shopcart/17390>

第2日目：8月30日(日)

<https://twitcasting.tv/c:towamovie/shopcart/17388>

他県のコンクールを聴く良いチャンスです。成功裏に開催されることをお祈りします。

6ヶ月ぶりの練習

男声合唱団ゴールデンエイジふくい 団長 斉藤厚一

6ヶ月ぶりにホームグラウンドへ戻りました。練習拠点の県立音楽堂練習室が本来は第九の練習にも使える広さですが現在の入室は40名まで。80名の当団には未だ使えず屋根付き屋外などで声を出していましたが6ヶ月ぶりにホームグラウンドに戻りました。とは言っても小ホールでの練習です。



ホール使用に関してはコロナ感染対策が定められており入館時の体温測定、手指消毒、入館後の密集禁止は初段階。①入退館時に密集しないよう、できるだけ分散退場策を講じる。②入館後は常時マスクを着用し、咳エチケットを実践する。③連絡やミーティングは可能な限り人との間隔を1m以上離し、少人数・短時間で行う。



小ホールは全610席だが1階席340席の内座れるのは前から1列置き、横は2席空ける等兎に角隣の仲間が遠い、1パートを交代でステージに上げるが慣れないので声も聞きづらい等状況は厳しいが、8月25日の福井は37度予報の猛暑日だけに冷房の効いたホールは有難い。

声を出すうちにホールにも段々慣れてきて何とか気持ち良く歌える様になりました。しかし問題は経費、練習室1ヶ月分でも足りない費用が掛かるのが頭痛の種です。